

DE&I NEWS LETTER

DE&I (Diversity, Equity & Inclusion)



令和7年度DE&I推進セミナー

DE&I(多様性・公平性・包摂性)推進の意義
——逆風の時代に今なぜ?——

11月5日、「DE&I(多様性・公平性・包摂性)推進の意義 ——逆風の時代に今なぜ?」というテーマでDE&I推進セミナーを開催しました。

はじめに、在間敬子学長より開会の挨拶がありました。そのなかで、『教育・研究面における5つの柱』のひとつであり、重点項目としても掲げられている「DE&I(Diversity, Equity & Inclusion)の推進と幸福感あふれる場づくり」について話されました。さまざまな人が活躍するために、違いを受け入れ、尊重され、安心・安全に学べ、働ける場所としての大学について話されました。



続いて、DE&I推進室長で現代社会学部客員教授の落合恵美子先生による話題提供がありました。講演では、DE&Iの意味とアメリカ合衆国と日本におけるDE&Iの歴史について解説されました。歴史的には、DE&I推進には常にせめぎ合いがあったこと、現在の日本社会においては、「草の根バックラッシュ」があることなどの話がありました。これらのことから、社会構造としての差別について社会的な考察が行われ、DE&Iが必要であるということ、それらを実現するために適正な制度の在り方について話されました。

DE&I とは

セミナー資料より

・ Diversity (多様性)

・ 性別、性的指向、性自認、年齢、民族、国籍、宗教、言語、価値観、信条、出身、地位、障害の有無、健康状態、家族関係、家族形成、子育て、看護、介護の状況などの多様性を尊重

・ Equity (公平性)

・ 多様な属性の“違い”が“強み”となり、個々の能力が最大限に発揮される環境づくり
・ 個々の異なるニーズに応じた機会やサポートを提供し、実質的な機会均等を実現する

・ Inclusion (包摂性)

・ 世界から人々が集まり活力に満ちた一拠点総合大学を実現
・ 多様な背景を持つ人々が組織や社会の一員となり、意思決定に参加する環境を整える

話題提供を受けて、パネリストの関田静香経済学部教授、足立薫現代社会学部准教授、藤高和輝文化学部准教授、ラボレット エリザベス外国語学部教授が登壇。最初に、DE&I推進委員会委員長で司会の藤野敦子現代社会学部教授から、各パネリストとQ&Aモデレーターで参加された柴野良美経営学部准教授に自己紹介と「私とDE&I」というテーマで発言が求められました。各パネリストからは、国籍や性別など、異なる立場から自身の経験などが話され、その後の活発なディスカッションにつながる口火が切られました。

続いて、話題提供での話についてディスカッションが行われ、子育てや女性の昇進、セクシャル・マイノリティに代表されるような多様性は周知されているのか、フロアからの「本学は組織的にマッチョなのでは?」という質問について議論されました。

詳細については、セミナーの動画が期間限定で公開されていますので、ご確認ください。裏面では、参加された方々の感想を紹介しています。



当日のセミナー参加者は、会場25名、Teams33名でした。アンケートには16名の方にご回答いただきました。ご参加・ご回答、ありがとうございました。感想・ご意見を一部ご紹介します(紙片の都合上、表現を一部変更しています)。

セミナーに関する感想やご意見

「DE&Iの本学の取り組みの概要や方針を改めて知ることができてよかった。オンラインの質問も興味深く、本学の状況を知る機会になった」

「もう少し開催頻度を増やし、多様なテーマを取り上げてほしい」

「教員を中心とする講演会をするとともに、事務職員にも登壇してもらえばより深い議論になると思う」

「落合先生の話提供ですが、アメリカの事例をはじめDE&Iの背景を知る貴重な機会となった。差別は構造的であるとの話の中でもアンコンシャス・バイアスの話が興味深かった。…(略)…これらのバイアスを完全になくすることは難しいかもしれないが、バイアスがあることを常に意識し、間違いに気づく、間違いに気づいたら素直に考えを改めることを心がけることから始めようとセミナー受講後に思った」

「片方を配慮すると、他方に逆差別のようになってたり、あちらを立てればこちらが立たず、双方立場や言い分があるのでバランスをとっていくのは大変難しいなと改めて思いました」

「例年よりも参加者が増えているように思った。年に一度の意識醸成イベントとして継続することが重要」

「非常に意義深いテーマで様々な興味深い話が出た反面、時間が短いため十分深められなかったように感じた」

「LiveQでの質問システムは良かった。登壇された先生方のお話も興味深かった。もっと先生方のディスカッションのお時間が欲しかった」

本学のDE&I推進に関する取り組みについてのご意見

「これからも、多様な立場の方々がそれぞれ理解し合って充実して働けるよう、学べるよう、啓蒙活動をしてほしい」

「女性教員がリーダーになりたがらない理由として負担が大きすぎるというのは本当にその通りだと思う。授業のコマ数等が減ることなく新たな業務をこなすのは厳しい。また、研究時間が無くなり研究者としてはマイナスにしかならない。女性の場合、更年期障害等による体力面での不安もあると思う。慣習的に義務化されていた行事等への参加をなくすなど、リーダー職の負担をいかに減らすかは本学にとって非常に重要な問題だと考える」

コミュニティスペース「リビング」

DE&I推進室では、4号館3階にいろいろ活用できるコミュニティスペースとして「リビング」を開設しています。ここでは、関連するイベントが行われ、ジェンダーやセクシュアリティなどについて学ぶための書籍を閲覧することができます。金曜日は12:30～SOGI相談員が在籍しています(個別相談は要予約)。

開設後も変化を続ける「リビング」ですが、DE&Iに関連する事柄が学べ、語れるスペースとして利用者の声を反映させつつ日々成長しております。

「リビング」の入り口では、目から音を出す特殊技能をもったブルドッグの「ブルちゃん」が皆さんをお出迎えしております。開室中はスタッフが常駐していますので、お気軽にお尋ねください。



京都産業大学 DE&I 推進室

〒603-8555 京都市北区上賀茂本山
Tel.075-705-3125 雄飛館5階
E-mail:diversity-office@star.kyoto-su.ac.jp

